

2019.6.1



山武市
SAMMU



議会だより

No. 52



新松尾小学校(写真上)と新山武中学校(写真下)の開校式

今月の
表紙

新たな歴史がスタートしました!

- 3月定例会 審議結果一覧 P 2~3
- 予算審査特別委員会、常任委員会審査報告 P 4~5
- 一般質問 P 6~14
- 行政視察、要望等報告 P 15~16



山武市マスコットキャラクター
SUNムシくん

3月定例会

平成31年第1回定例会が、2月20日から3月13日まで、22日間の会期で開かれました。

市長から諮問1件、議案46件、報告3件、また、議員から発議案1件の提出があり、それぞれ原案のとおり同意・可決されました。

<議案等の審議結果一覧>

		平成31年第1回定例会が、2月20日から3月13日まで、22日間の会期で開かれました。 市長から諮問1件、議案46件、報告3件、また、議員から発議案1件の提出があり、それぞれ原案のとおり同意・可決されました。		会派等 議員名		平成会		さんむ21		未来研		公明党		新国会		さんむ		日本共産党		わかしお			
						小川善郎	行木三郎	小川吉孝	和田善治	林善和	櫻田基介	萩原善和	高知尾正義	石川和久	小川良一	能勢秋吉	並木一寅	市川陽子	長谷部英子	大塚重忠	大川義弘	穴倉弘康	並木幹男
諮問第1号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 内田 順一 氏（蓮沼イ）				適任と認める																	
議案第1号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 今関 孝之 氏（井之内）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案第2号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 鈴木 俊幸 氏（富田）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第3号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 雲地 康夫 氏（埴谷）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第4号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 三橋 敏子 氏（蓮沼二）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第5号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 佐藤 裕子 氏（埴谷）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第6号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 鈴木 伸子 氏（富口）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第7号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 増田 千代子 氏（松野八田）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第8号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 井野 敬一 氏（成東）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第9号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 齊藤 茂 氏（松尾町折戸）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第10号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 林 善和 氏（木原）				○	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第11号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 藤田 雅之 氏（白幡）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第12号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 高宮 英夫 氏（松野町金尾）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第13号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 古谷 昌己 氏（松野町金尾）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第14号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 小山 和典 氏（下横地）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第15号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 小川 善郎 氏（蓮沼口）				一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第16号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 川島 芳典 氏（松野町五反田）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第17号	同意	山武市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員の選任につき、議会の同意を求めるもの 高野 正夫 氏（板中新田）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第18号	可決	消費税等の税率の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について 消費税法の一部を改正する等の法律が、本年10月1日に施行されることに伴い、関係条例を一括して改正するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第19号	可決	山武市避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について 災害時の要支援者へ対する避難支援等を強化するため、「避難行動要支援者名簿」の個人情報等を、本人から拒否の意思表示がない限り、平常時から民生委員・児童委員及び自主防災組織等の避難支援等関係者に提供することができるよう、条例を制定するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第20号	可決	山武市森林環境譲与税基金条例の制定について 平成31年度から市に譲与が予定されている「森林環境譲与税」について、間伐等の森林整備や森林整備を促進するための人材育成等に充てるため、基金を設置する必要があることから、条例を制定するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第21号	可決	山武市豊岡体育館条例の制定について 豊岡小学校の閉校に伴い、現在の豊岡小学校の講堂を社会体育施設として管理していくため、条例を制定するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第22号	可決	山武市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 超過勤務命令を行うことができる上限を定める等の所要の措置を講じる必要があるため、条例の一部を改正するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第23号	可決	山武市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市議会議員の期末手当について、一般職職員の期末手当・勤勉手当の年間支給月数の改定と合わせるため、条例の一部を改正するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	
議案第24号	可決	山武市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について 特別職の期末手当について、一般職職員の期末手当・勤勉手当の年間支給月数の改定と合わせるため、条例の一部を改正するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		
議案第25号	可決	山武市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 平成30年度の人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告に鑑み、一般職職員の給与月額を引き上げ等について、条例の一部を改正するもの				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一		

○ = 賛成、× = 反対

※加藤忠勝(議長)、林善和(当事者)(議案第10号)、小川善郎(当事者)(議案第15号)は採決に加わりません。

3月定例会

新年度 一般会計予算額 229億6,000万円に決定！

<議案等の審議結果一覧>

		議案等	平成会				さんむ21		未来研		公明党		新国会		さんむ	日本共産党	わかしお					
			小川善郎	行木三郎	小川吉孝	和田喜治	林善和	櫻田基介	萩原善和	高知尾正義	石川和久	小川良一	能勢秋吉	並木一寅	市川陽子	本山英子	長谷部竜作	大塚重忠	大川義男	穴倉弘康	並木幹男	加藤忠勝
議案第26号	可決	山武市学童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について 松尾学童クラブを実施する施設として、農村環境改善センターを追加するため、条例の一部を改正するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	可決	山武市国保日向診療所使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 日向診療所における、診療料の額を算定する際に引用する法令等の改正および消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	可決	山武市景観条例の一部を改正する条例の制定について 市の景観形成基準に適合しない無届行為者に対する措置を講じるため、条例の一部を改正するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	可決	山武市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について 都市公園内に設置する自動販売機について、使用料の明確化および消費税の一部を改正する等の法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	可決	山武市蓮沼スポーツプラザ条例の一部を改正する条例の制定について 蓮沼スポーツプラザ内のトレーニングルームを廃止し、更衣室へ改修することおよび消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	可決	第2次山武市総合計画基本構想を定めることについて 第2次総合計画の基本構想を定めることについて、議会の議決を求めるもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	可決	平成30年度山武市一般会計補正予算（第4号） 既定の歳入歳出予算額から6億3,474万円を減額し、歳入歳出予算総額を209億7,425万1千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	可決	平成30年度山武市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 事業勘定は既定の歳入歳出予算額から469万2千円を減額し、歳入歳出予算総額を72億1,049万2千円とし、直営診療施設勘定は既定の歳入歳出予算額から626万2千円を減額し、歳入歳出予算総額を1億3,303万8千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	可決	平成30年度山武市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 既定の歳入歳出予算額から3,405万6千円を減額し、歳入歳出予算総額を5億3,543万3千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	可決	平成30年度山武市介護保険特別会計補正予算（第2号） 既定の歳入歳出予算額から3,007万円を減額し、歳入歳出予算総額を47億5,015万5千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	可決	平成30年度山武市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 既定の歳入歳出予算額に75万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を2億7,751万3千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	可決	平成30年度山武市水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入は既定の予算額から259万7千円を減額し、総額を4億3,378万4千円とし、収益的支出は既定の予算額から647万8千円を減額し、総額を3億7,068万6千円とし、資本的支出は既定の予算額に7万4千円を追加し、総額を2億5,272万4千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	可決	平成31年度山武市一般会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ229億6,000万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第39号	可決	平成31年度山武市国民健康保険特別会計予算 事業勘定は予算の総額を歳入歳出それぞれ69億1,970万円とし、直営診療施設勘定は予算の総額を歳入歳出それぞれ1億3,400万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第40号	可決	平成31年度山武市後期高齢者医療特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ5億5,260万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第41号	可決	平成31年度山武市介護保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ47億2,000万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第42号	可決	平成31年度山武市組合立国保成東病院事業清算事務特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ2億100万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	可決	平成31年度山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2,327万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	可決	平成31年度山武市農業集落排水事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ2億7,760万円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	可決	平成31年度山武市水道事業会計予算 収益的収入を4億1,974万8千円、収益的支出を3億7,809万9千円とし、資本的収入を615万6千円、資本的支出を2億271万3千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	可決	平成30年度山武市一般会計補正予算（第5号） 既定の歳入歳出予算額に5億3,216万5千円を追加し、歳入歳出予算総額を215億641万6千円とするもの		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）		報告のみ（採決なし）																		
報告第2号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）		報告のみ（採決なし）																		
報告第3号	報告	専決処分の報告について（学校給食費請求に係る和解について）		報告のみ（採決なし）																		
発議案第1号	可決	山武市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○＝賛成、×＝反対

※加藤忠勝（議長）、林善和（当事者）（議案第10号）、小川善郎（当事者）（議案第15号）は採決に加わりません。

予算審査特別委員会 審査報告

審議結果

議案第38号、議案第39号、議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案第45号

(原案可決)



審査報告をする小川委員長

●市民部所管部分

コミュニティ施設整備事業

問 コミュニティ施設整備支援事業で、改築の補助率と解体の補助率が異なる理由について伺います。

答 解体補助については、集会所の敷地内に、建物やその他の工作物、また樹木等が撤去されずに残ると、後々の防災や防犯、公衆衛生上の問題等の発生が考えられます。当該の敷地の利活用を考慮すると、集会所を解体して、その後地区や区で活用しやすいように整地された状態にすることが望ましいと思っています。

地域の住民の触れ合いの場となっているコミュニティ施設が、安易に解体されて、コミュニティの場がなくなってしまうようなことがないよう、補助率を設定しています。



平成31年度各会計予算関係議案8議案を審査するため、定例会3日目に予算審査特別委員会が設置されました。

小川吉孝委員長、大塚重忠副委員長が選任され、議長を除く全議員で委員会を構成し、3月6日と7日の2日間開催されました。

市長、関係部長等から説明があり、慎重に審査を行いました。

●経済環境部所管部分

ブルーフラッグ取得

問 ブルーフラッグの認証取得に取り組んでいます。認証取得するからには、ほかの九十九里浜の海水浴場と比べて本須賀海岸は違うな、というものをどうしても出したいと思いますが、どうですか。

答 ブルーフラッグが認証となれば、本須賀海岸は、安全・安心な海水浴場であり、海に行くなら本須賀だと思っただけのようなPRをしていきたいと思っています。

また、海の家の方々や市民の皆さんにも協力していただき、環境教育等も行いながら、魅力ある本須賀海岸にしていきたいと思っています。



多くの人でにぎわう本須賀海岸

●教育部所管部分

施設改修工事費

問 全体的に大規模な施設の改修が多くなっています。が、今後も改修工事は続くのか伺います。

答 平成31、32年度で大規模な施設改修工事を多く見込んでいますが、耐震改修等の有利な財源を使用できる期間が決まっていることから計上しました。

今後については、入れ替える時期等が到来した機器の改修等は見込まれますが、大規模なものは、今のところ、予定していません。



●都市建設部所管部分

土木費の増額

問 土木費について、松尾駅前の周辺排水対策事業を除いて、どのくらい増額したのか伺います。

答 市民等からの工事要



予算審査特別委員会の様子

各常任委員会審査報告

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されています。常任委員会では、本会議で審査を付託された議案等について、専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

総務常任委員会

(2月28日開催)

議案第18号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第31号、議案第32号の一部、議案第33号の一部、議案第34号 (原案可決)

*委員会質疑要約

消費税等の税率の引き上げに伴う変更

問 自治体には、消費税等の納税義務はないと思われませんが、条例改正等に伴う消費税額等の流れはどうなっていますか。

答 消費税法の規定により、自治体が一般会計に係る業務として行う事業については、課税標準に対する消費税額と、控除することができ消費税率とを同額とみなすことにより、結果的に納税額が発生しない仕組みとなっています。

その一方、公の施設の使用料は、消費税の課税対象となっていることから、消費税率が改正された場合は、消費税率の額を改正する必要があります。



総務常任委員会の様子

文教厚生常任委員会

(3月1日開催)

議案第19号、議案第21号、議案第26号、議案第27号、議案第30号、議案第32号の一部、議案第33号の一部、議案第35号 (原案可決)

*委員会質疑要約

学校給食センターのボイラー劣化への対応

問 学校給食センターのボイラーが、非常に劣化していると聞きましたが、早急な対応は必要ないですか。

答 年3回点検を実施しており、今のところ、給食の提供に支障が出るような異常はありません。万が一、故障等が生じ、給食が作れない場合に備えて、非常食も準備しており、給食の提供が止まらないよう万全の策を講じています。

小中学校のトイレの洋式化

問 トイレの洋式化について、あと何校で終了しますか。

答 平成31年度に、睦岡小学校、南郷小学校、松尾中学校を、平成32年度に山武北小学校の改修工事を実施し、計画された小中学校のトイレの洋式化が完了する予定です。



文教厚生常任委員会の様子

問 小学校トイレ環境整備事業について、大幅な減額補正となった理由について伺います。

答 小学校トイレ環境整備事業については、工事費を平成30年度の当初予算に計上していましたが、文部科学省の第1次補正予算による国の補助金を活用すべく、急遽、平成29年度の3月補正にて予

経済建設常任委員会

(3月4日開催)

議案第20号、議案第28号、議案第29号、議案第32号の一部、議案第36号、議案第37号 (原案可決)

算計上して平成30年度に繰り越しし、事業を実施しました。そのため、重複計上していた、平成30年度の工事費について、全額を減額するものです。



経済建設常任委員会の様子

3月定例会

一般質問



市政を問う！

p7

個人質問
さんむ21 石川 和久

- ①道路整備事業について
- ②成東総合運動公園について

p8

個人質問
公明党 本山 英子

- ①日向の森について
- ②いじめ・虐待の防止について
- ③改正健康増進法について

p9

個人質問
公明党 市川 陽子

- ①市政について
- ②がん対策について
- ③子育て施策について

p10

個人質問
公明党 長谷部 竜作

- ①人口減対策について
- ②防災教育について

p11

個人質問
さんむ 八角 公二

- ①小中学校の規模適正化・適正配置基本計画の見直しについて
- ②さんむ医療センターについて

p12

個人質問
日本共産党 並木 幹男

- ①福祉・医療・介護施策について
- ②子育て支援・教育について
- ③地域経済の振興について

p13

個人質問
平成会 林 善和

- ①成田空港関連企業の誘致について
- ②道路整備について
- ③さんぶの森元気館について

p14

個人質問
平成会 櫻田 基介

- ①地籍調査について
- ②緑海橋について
- ③避難道路について

一般質問（代表・個人）とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密着している事項など、多岐にわたります。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができます。

議会だよりは、質問した議員が自ら原稿を作成し、それを掲載しています。

今回の第1回定例会の会議録（6月中旬発行予定）は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。

また、録画中継をインターネット（スマートフォン、タブレットでも可）でご覧いただけます。



山武市インターネット議会中継

※一般質問の項目については、「一般質問通告書」の内容を記載しています。



議員 石川和久 さんむ21 いしかわかずひさ

道路整備事業について

問 成東駅南口線事業は、当初、平成30年度に完成予定と聞いていたが、現状はとも終わると思えない状況です。この事業は何年に完成するのか伺います。

答 市長 成東駅南口線に関しては、国道から駅に直結する重要な路線であり、山武土木事務所には、早期完成に向けて強く要望しています。市としても、事業推進に協力する旨を土木事務所に申し出て、調整をしているところです。

答 都市整備課長 本事業の完成について県に確認したところ、津辺の国道と交差点からの約100mについては、平成31年度の部分開通に向け、事業を推進していくと聞いています。

全線供用については、引き続き用地の取得に努め、1日も早い完成を目指

していくと聞いています。

問 平成30年度に完了しないのであれば、地元の方、地権者の方等に、まず説明会を開くことが必要ではないかと思いますが、どうですか。

答 都市整備課長 市へも、地権者の方や地元住民の方から、問い合わせ、意見をいただいております。山武土木事務所に説明会の実施を要望しています。

問 市道成東259号線、なるとうこども園前は車の通りが激しく、非常に危険であるため、先行して信号機を設置してはどうですか。

答 都市建設部長 なるとうこども園の交差点を取り巻く周辺環境ですが、平成26年4月、市役所前の市道殿台成東線、平成大橋開通に伴い、T字路交差点の安全対策として実施した形状となっています。信号機は設置までに時間を要することから、市としては、信号機設置に伴う関係機関との道路協議を31年度に前倒しで実施します。その上で、協議が整い次第、信号機設置を含めた交差点部の工事を発注するなど、市民や道路利用者の安全対策に向けて、早期に取り組んでいきます。

問 スーパーハヤシの脇の信号機から、成東259号線の道路につなぐ道路が必要だと考えますが、どうですか。

答 都市建設部長 国道126号線と旧国道の分岐する交差点から、店舗、スーパーハヤシ入り口までの道路を、現在、整備中の市道成東259号線まで延伸させる整備となります。

現在の国道交差点から店舗入り口までの区間は、民有地となっており、そこを道路として使用している状況にあることから、延伸整備については、当該部分の問題を、まず解消する必要があります。

現時点での整備計画はありませんが、成東259号線完成後における沿線の土地利用および道路利用状況を踏まえて、道路整備の必要性について検討していきたいと思っています。

なお、この路線の東側のマクドナルド店側に位置する、現在、砂利道、未舗装の市道成東266号線に関しては、段階的には、ありませんが、舗装工事を実施していく計画です。



開通が待たれる市道成東259号線

成東総合運動公園の遊具について

問 昨年度の成東総合運動公園の遊具の健全度調査の結果、劣化の著しいものが数多く確認されたようですが、現状について伺います。

答 教育部長 平成30年2月に実施した公園の健全度調査の結果、ほとんどの遊具が使用不可と判定されたことを受け、事故防止のため、平成30年4月1日から、使用を中止しています。



遊具設置が予定されている成東総合運動公園

問 遊具等については、地区の方等、多くの方が必要とされていると思いますが、今後の設置計画について伺います。

答 教育部長 平成31年度当初予算に、子ども用遊具の設置費用を計上しました。7月中の工事完成を目的に、準備を進めていきたいと考えています。設置する遊具は、すべり台、はしごの渡りやトンネル等、いろいろな遊びの要素を合わせた、コンビネーション遊具等の設置を予定しています。

日向の森について

問 市民の手によって、きれいに整備されてきたこの森を、市民の憩いの場として、広く活用するには、現在の行政財産という位置づけから、もう一歩踏み込んだ位置づけが必要だと思いますが、どうですか。

答 市長 日向の森については、ボランティアで森林整備活動をしていただいている民間団体の皆様方にお礼を申し上げたいと思います。今後の利用計画を考える上では、約46haという広大な面積ですので、公園用地のほか、企業誘致や森林施業についても、あわせて検討をしていきたい、そして、その用途については区域を分けて、検討していきたいと考えています。

問 トイレについては、どのような考えで、進んでいるのか伺います。

答 総務部長 森林内ということ

で、排水の問題もありましたので、水の必要のない微生物の有機物分解によるバイオマストイレ1基の設置を進めています。既に設置工事を発注し、3月末日までの完成を見込んでいます。



整備された日向の森での課外授業の様子

問 自然体験活動指導者の養成講座の開催について伺います。

答 総務部長 まずは、自然体験活動指導者による自然体験活動に参加し、関心を持っていただくことが必要かと思えます。

問 溝腐病にかかった木や、荒れ

ている日向の森を一度きれいに伐採してはどうかと、日向の森の再生に思いをはせてきました。森林計画に日向の森の森林部分が入ったことから、計画の着手時期と、おおよその完了時期について伺います。

答 総務部長 県森林組合の森林経営計画の区域に、日向の森を編入していただく協定を結んでいます。この協定に基づき、平成31年度から毎年、年度当初に整備内容を協議し作業を進めていく予定です。

問 森林組合の森林施業により生じた木材の一時置き場として、日向の森に土場を設けていただいています。このように計画が決まり、実際の作業を想定すると、土場の拡張が必要だと思いますが、どうですか。

答 総務部長 土場については、区域の拡張を検討していく考えです。

いじめ・虐待の防止について

問 今も昔も人間教育が大事であることは、言うまでもありません。教育長の考えについて伺います。

答 教育長 いじめ問題は、絶対にあってはならないものです。学校と家庭、教育委員会、関係部局、そして関係機関が、より一層連携をし、子どもたちを見ていかなければなりません。いじめや虐待を認知した後の対応に

ついては、さまざまな組織が連携をとり、子どもの命、安全安心を守るために、対応していく仕組みが手厚く構築されています。人間教育が大変大事なことになると思います。教育委員会として、まずはいじめや虐待を起こさせないために、子どもたちの道徳心を育み、自尊心を高め、お互いを認め合えるようにしていくことで、命、そして人権を大切にする教育を、より一層推進していかなければならないと考えています。

改正健康増進法について

問 政省令が出されたということで、市は、改正健康増進法に明記されている受動喫煙を防止するための措置を、どう進めるのか伺います。

答 総務部長 庁舎内の喫煙場所については、撤去をします。早急な対応をしたいと考えています。

問 職員の、休憩時間を除く勤務時間内禁煙について伺います。

答 市長 昨年の9月議会で、質問をいただきました。勤務時間内の禁煙ルールについては、健康増進法の趣旨を踏まえ、4月1日から実施していく考えです。





公明党 市川陽子 議員

市政について

問 平成31年度当初予算(案)の概要に、「合併当初は身の丈予算を基本に推進を目指してきたが、扶助費、小中学校の規模適正化に係る施設整備、病院施設整備、老朽化した公共施設の修繕等に多額の財源を要し、歳出規模の削減は必須」とありますが、3年間のシーリング率を伺います。

答 財政課長 シーリング率は、平成28年度は8%、29年度は5%、30年度は一件査定を実施、31年度は7%です。

答 市長 平成31年度は230億円に近い予算規模です。今後、無駄な経費を抑え効率的に取り組んでいきます。

問 具体的にどのような点に配慮しているか伺います。

答 財政課長 毎年、年末に総務

省の自治財政局から翌年度の地方財政対策が公表されますが、いち早く新しい情報を入手し、国・県等の事業に対する補助金や有効的な起債、有利な条件による財源確保に努め、健全な財政運営に取り組んでいます。

問 公共料金明細サービスによる、総務課、財政課、市民課、都市整備課、環境保全課、学校教育課で所管する施設の水道代、ガス代、電気料金等の支払い、防犯灯等の定額電気料金に係る一括前払い等の経過について伺います。

答 会計管理者 導入から7年が経過し、当初の防犯灯等の定額電気料金に係る一括前払いは、7661基分、約2405万円でしたが、平成29年度は、8131基分、約1878万円でした。また、公共料金明細サービスによる支払いは、導入当初は2728件、約1億9945万円でしたが、平成29年度は、3121件、約2億4490万円、順調に移行しています。今後とも継続していきたいと思っています。

問 新たな支払いの実施について伺います。

答 会計管理者 山武郡市広域水道企業団分水道料金の支払いを、公共料金明細サービスに移行することで、業務の効率化を図ります。



がん対策について

問 AYA世代(15歳から39歳までの思春期・若年成人)のがん対策に對して、どのような認識を持っているか伺います。

答 保健福祉部長 取り組みとしては、20歳から30歳代のがん検診を実施しています。その他、5歳刻みの方への割引クーポン券の配布や個別検診の実施、母子保健事業での受診勧奨や手作りのリーフレットによる成人式等での啓発を行っています。

問 未受診者への取り組みについて伺います。

答 保健福祉部長 40歳から65歳までの5歳刻みの方へ、勧奨はがきを郵送し、また、こども園、小中学校の保護者全員にリーフレットを配布しています。QRコードを読み取ると、ホームページのがん検診申し込みフォームへ移行するようになっており、利便性を図っています。

問 小児がん(網膜芽細胞腫)という目のがんがあります。発症は、出生時、1・5万人から1・6万人に1人で、5歳までに95%が診断されています。家族が子どもの目の異常に気づき、受診に至っています。早期発見に向けての乳幼児健診について伺います。

答 保健福祉部長 乳児健診、1

歳6カ月児健診、2歳6カ月児歯科検診、3歳児健診の問診票に、目に関する質問項目を入れており、保健師が必ず問診内容と子どもの状態を確認しています。問診の結果、必要に応じて医師の判断で、専門の契約医療機関を受診していただいています。

子育て施策について

問 幼児教育・保育の無償化は、今年10月の消費税10%への引き上げの増収分を財源に充てるとのことですが、対象者数について伺います。

答 保健福祉部長 3歳から5歳児の幼稚園、こども園短児部の利用見込数は336人、保育所、こども園長児部は458人です。住民税非課税世帯の0歳から2歳児の子どもは29人、うち、26人は無償となるひとり親世帯のため、対象は3人です。

問 周知の方法について伺います。

答 保健福祉部長 施設利用保護者への周知を、新年度の4月から5月頃に予定しています。今後、市ホームページや広報紙を活用します。

問 今後の転入者の見込みについて伺います。

答 保健福祉部長 幼稚園、保育所、認定こども園を利用する子どもは、20人程度で、対象になるのは半数程度と想定しています。

個人質問

人口減対策について

問 人口減少の原因をどう捉え、どのような対策を行っているか伺います。

答 市長 出産、子育てをする20代から40代の女性が少ないことが、人口減少の原因の1つと考えています。

そのため、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う子育て支援センターの設置や、教育環境の整備など、子育て支援の体制をつくり、子育て世代の人口増加に取り組んでいます。

問 どのような取り組みを考えているか伺います。

答 総務部長 安心して出産、子育てができる環境づくり、グローバル教育、ICT教育の教育環境整備や、成田空港の機能強化を見据え、空港周辺地域としての基盤整備、空港へのアクセス改善等で、今後増加する空港勤務者の取り込みを図り、移住・定住の



はせべりゅうさく
公明党 長谷部竜作 議員

促進を進めていきます。

問 移住・定住促進策には、どのような事業があるのか伺います。

答 総務部長 新婚世帯向けの、新居の住居費や引っ越し費用の補助、移住・定住の促進を目的とした結婚新生活支援補助金などがあります。

問 他の自治体と比較した場合はどうか伺います。

答 総務部長 安心して子育てができる環境づくりを進めてきましたが、子育て世代向けの住宅取得に関する補助金等は、十分でないと感じていますので、さらなる取り組みを行っていきたいと考えています。

問 三世代同居・近居の住宅取得補助支援策を取り入れてはどうかと思いますが、どのようなメリット、デメリットがあると考えているか伺います。

答 総務部長 メリットは、移住・定住の促進や地域経済の活性化に加え、子育て支援や高齢者対策の一環としても有効であると考えています。また、親元や、その近くに住居を取得する事で、親から子育てのサポートを受けることもでき、安心して子育てを行うことができるものと思います。デメリットというものは、想定していません。

問 財源について伺います。

答 総務部長 県地域住宅等整備

計画に当該事業を組み入れていただくことで、国の社会資本整備総合交付金の活用ができます。その補助率は、事業費の45%となっています。

問 住宅ローンの金利補助も含めて導入してはどうですか。

答 総務部長 子育て世代向けの住宅取得補助支援策は、移住・定住支援策として、また、子育て支援や高齢者対策の一環としても活用できるものと考えます。また、金融機関と連携を図ることで、より事業効果の向上を図ることができそうです。既存の施策や財源を含め、検討していきます。



防災教育について

問 昨年は非常に多くの災害が発生しました。今後、子どもたちの命を守るため、子どもに対する防災教育がとても大事だと考えます。子どもたちの防災意識の高揚に対しての、市長の考えについて伺います。

答 市長 市民の生命と財産を守るということは、非常に重要な行政の使命です。また、防災意識の高揚には、子どもからの災害・防災に係る教育が不可欠であり、その重要性は深く理解しています。

問 防災意識を高めるため、小学校で子ども防災手帳を作成してはどうですか。

答 教育部長 子ども防災手帳は、自分で身を守る注意事項や情報、自分や家族の情報を記入したりすることができ、そのため、非常に役に立つものだと考えています。



市消防団女性部による小学校での講話

問 中学校で、HUG(避難所運営ゲーム)を実施してはどうですか。

答 教育部長 避難所運営ゲームは、高齢者や障がいを抱える方、外国人等、さまざまな人たちについて配慮しながら、避難所の運営を学ぶことができます。防災教育の充実のため、実施については消防防災課と相談をしながら、検討していきます。



はつかくこうじ さんむ 八角公二 議員

小中学校の統廃合計画の見直しについて

問 市長は成東中学校と成東中学校について、統合の時期や場所は平成31年度中に決めると答弁しています。その進捗状況について伺います。

答 市長 成東中学校の老朽化と、今後両校とも生徒数の減少が見込まれるため、成東中学校と成東東中学校の統合という方向性では、教育委員会と共通認識を持っています。

問 成東中学校と成東東中学校は統合をする方向でいるとのことですが、市長は「学校の統廃合計画は見直しをする」と公約しています。また、総合教育会議において、市の教育方針・教育大綱を定めることにもなっています。成東中学校の学区内では統合に反対する人が多く、このような地域住民の意見をよく聞き、適切な運営をする事が、地方教育行政では、求められています。

す。市長は対話集会などを開き、市民の皆さんからの意見を聞く考えはあるのか伺います。

答 市長 成東中学校と成東東中学校の統合について理解を得られていない方々がいると感じています。平成31年度中に決めるということで、少し時間を頂いて、対話集会なども含めてしっかりとやっていきたいと思っています。



統廃合が検討されている成東中学校

さんむ医療センターについて

問 さんむ医療センターの夜間の救急患者受け入れの現状について伺います。

答 保健福祉部長 山武郡市内の二次救急医療については輪番制になっており、さんむ医療センター、大網病

院、高根病院、九十九里病院、浅井病院、東千葉メディカルセンターの6病院が対応しています。毎日、午後5時30分から翌朝8時30分まで、内科系および外科系のそれぞれの当番病院が、地域住民の救急医療にあたっています。さんむ医療センターでは年間、内科では24日、外科では174日を受け持っています。看護部分の体制がなかなか整わない現状のため、来年度の内科の日数は24日を予定したいとのこと。

問 緊急事態があつたときに、地元の病院で受け入れてもらえるのは、市民にとって一番安心なことです。病院の建設問題も関係してくるため、輪番制も含めて救急患者の受け入れ体制を整備して頂けないか伺います。

答 市長 確かにさんむ医療センターの輪番制は数字的には非常に少ないと感じています。昼間の救急受け入れは増えていますが、夜間については輪番制で、その配分は会議で決定しています。今後、ご指摘の視点を持って取り組むよう話をしていきたいと思

問 東金市の東千葉メディカルセンターでは医師数が増え、診療についても充実を図っています。また、成田市にも新しい病院ができると、経営方針によっては患者の奪い合いになり、

経営が悪化することも考えられます。地域の医療環境が変わりますが、その対応策についてどう考えているのか伺います。

答 市長 東金市には東千葉メディカルセンター、また、成田市には新しい病院ができることで、医療環境が変わってきています。全体的に高齢化になり、開業医の先生方も高齢化しています。さんむ医療センターを今後どうするかについては、このような医療環境の変化に対応した病院をつくっていく、建設していくという方向が必要だという判断で、今、進めています。

執行部としても、将来に向けて、しっかりとした病院をつくるために、議員の皆さんに報告、相談等をさせていただきたいと思っています。



地方独立行政法人 さんむ医療センター

福祉・医療・介護施策について

問 国保制度について、安倍政権が平成30年度からスタートさせた国保の都道府県化は、都道府県に国保行政の監督権限を与えることで、市町村による一般会計からの独自繰入をなくしていくための制度改変です。政府・厚生省は、制度改変の初年度である平成30年度について、繰入維持を含めた住民負担の回避を自治体に求める一方、都道府県の国保運営方針の第一期が終わる平成35年度まで、赤字解消の名で法定外繰入の解消を進めるよう、自治体に号令をかけています。

こうした動きがある一方で、平成30年度には、宮崎市、葦崎市をはじめ、少なくとも自治体が国保税の引き下げに踏み切りました。市でも、平成30年度の国保税は引き下げになりましたが、平成31年度についても引き下げになる



日本共産党 並木幹男 議員

ことを要望しますが、保険税の来年度の見通しについて伺います。

答 市民部長 平成31年度標準保険税率、税額ですが、県から示された仮係数により算定された医療分、支援分および介護分を合わせた標準保険税率は、現行に比べ、所得割は0・3%増の11・13%、均等割は100円減の4万8700円、平等割は1500円増の2万3000円とされ、平成30年度の現行税率と比べ引き上げられており、平成31年度、一人当たりの標準保険税についても、平成30年度と比べ、1556円増の、9万8103円となる算定結果が示されました。

平成31年度当初予算(案)における国保税の算定に当たっては、県算定の標準保険税率と現行税率の両方で試算を行ったところ、現行税率を用いた場合、財源に不足が生じるものの、国・県からの公費負担や繰越金、財政調整基金の保有状況など、総合的に勘案した結果、平成30年度に引き下げた現行の税率を据え置くこととし、不足は財政調整基金からの繰り入れなどで対応します。

問 平成30年度から、子どもの均等割の独自軽減など、新しい形の国保税軽減策を導入する動きが各地で起っています。特に所得制限なしで国保に加入する全ての子どもの均等割を一

律3割減免とした仙台市の取り組みは、全国から注目されています。これらの独自軽減は、国保法第77条の規定を活用したものです。この国保法第77条に基づき、減免措置への公費繰入は、政府・厚生省の区分では国保運営方針に基づき、続けてよい繰入ということになります。このような考えから、子どもの均等割の独自軽減の考えについて伺います。

答 市長 政府全体として、少子化対策を推進する中で、ご提案の子育て世帯の負担軽減策は、国の制度で実施している国保制度の中で対応すべきと考えています。このため、今後においても、引き続き、県や全国市長会などを通じて、子どもに係る減免などの制度創設や国庫負担割合の引き上げなど、国の責任と負担において、実効ある措置を講じるよう要望していきたいと考えています。



地域経済の振興について

問 住宅・商店リフォーム制度の予算拡充についての考えを伺います。

答 都市整備課長 住宅リフォーム補助事業は、住環境の向上とともに、地域経済の活性化、人口減対策を図るため、市内施工業者により、自己の居住する住宅のリフォーム工事に要する費用の一部を補助することを目的としています。

この事業は利用者が多いことから、平成31年度予算については、100万円の増額を行い、600万円の予算を計上しています。



答 経済環境部長 商店等リフォーム助成事業は、平成29・30年度については700万円の予算で実施してきました。本年度は予算額に達しましたが、事業の実施件数が減少傾向にあるため、平成31年度予算については商工会と調整・協議を図った中で、500万円を計上しました。

今後も商工会と連絡調整等を密にした中で、現状を把握し、必要に応じた予算措置に努めていきたいと考えています。



はやし よしかず
平成会 林 善和 議員

成田空港関連企業の誘致について

問≫ 成田国際空港は、空港間競争

の激化や、東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎えようとしています。

そのような中、国、NAA（成田国際空港株）は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを万全な体制で迎えるため、成田空港のさらなる機能強化策の1つであるA滑走路夜間飛行制限変更の実施時期について、今年の冬ダイヤから前倒して実施したい旨が示されました。市・市議会としては、NAAが、市が置かれている航空機騒音の実情を理解し、今後、防音対策をより一層進めていくこと、また市議会から市に対して、航路下で暮らす方より実感できる騒音対策を検討・実施することをお願いし、冬ダイヤからの実施について、苦渋の決断をしました。そのような中、成田国際空港の機能

強化策による、関連企業の進出や雇用の増加に対して、市はどのような協議を行っているか伺います。

答≫ 市長 冬ダイヤからの前倒しについては、NAAの協力姿勢が見えたため、慎重な審議の上、重大な決断をいただきました。市としても雇用と企業誘致の場を見逃すことなく取り組みます。

答≫ 総務部長 空港内の従業員増加を、市への移住政策につなげたいと考えます。現在は、県や金融機関と情報交換を進めています。



成田国際空港

道路整備について

問≫ 市内道路整備の要望に対して、未着手件数は何件か伺います。

答≫ 都市建設部長 平成31年1月末現在で、道路関係で181件です。

問≫ 市道日向307号線の拡幅について、日向の森への進入路の進捗状況について伺います。

答≫ 都市建設部長 総延長約1400mで、合併前に雨坪地区側、約500mを、合併後に森地区側、約400mの道路整備を行っています。

未整備区間の中間部、約500mについては、用地買収の必要な箇所があります。交渉は引き続き行っています。合意には至っていません。

問≫ この事業は地区からの要望もあり、地権者からの協力がいただけなければ、計画を変更してはどうですか。

答≫ 都市建設部長 市としては、日向の森の土地利用などの方向性が定まった段階で、現在の計画路線で、土地利用に対応できるかどうかを検証したいと思います。また、地権者の協力がいただけない場合も想定し、取り組んでいきます。

問≫ 大木・細田の市道日向33号線の、舗装工事の実施時期について伺います。

答≫ 都市建設部長 平成31年度事業により、早い時期に舗装工事を予定しています。

問≫ 大木地区の排水工事について、未着手の地区があるようですが、完了時期について伺います。

答≫ 都市建設部長 総延長約400mで、本年度から工事に着手しており、現在、140mの整備を実施しているところ。また、平成31年度に

については、約1000mの工事を予定しており、工事完成は、平成33年度末を予定しています。

さんぶの森元気館について

問≫ 市民の大切な憩いの場であり、体力増進、健康づくりと、予防医学の原点でもある、さんぶの森元気館の現状について伺います。

答≫ 保健福祉部長 (株)コナミスポーツクラブに管理運営を委託し、健全な事業を実施しています。

問≫ 利用者を増加させるための取り組みについて伺います。

答≫ 保健福祉部長 各種プログラムの充実や、本市に転入された方に無料の利用券、「ウェルカム・チケット」を配布しています。そのほか、母の日、父の日に合わせた似顔絵の募集や掲示、夏休みの工作展示、書初め教室等、各種イベントを実施しています。市の健康福祉まつりでの、元気館のイベントやプログラムへの参加募集についてのPR活動や、広報紙等での周知も行っています。



さんぶの森元気館



平成会 桜田基介 議員

地籍調査について

問 地籍調査の取り組み状況について伺います。

答 市長 地籍調査は大変重要な事業と考えています。現在、県国土調査推進協議会の会長としており、県内の地籍調査の推進に取り組んでいます。

答 都市建設部長 平成7年度に旧山武町全域を対象として着手し、本年度で24年目となります。現在は本原地区を対象に調査を進めており、実施面積は昨年3月末現在で、約12・7km²、進捗率は8・7%です。

問 地籍調査は大変重要な事業です。メリットについて伺います。

答 都市建設部長 土地取引の円滑化、災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化、まちづくり、土地に係るトラブルの未然防止が挙げられます。

問 海岸地域は津波で多大な被害

を受け、住民も減少し、地域が疲弊している状況です。海岸地域の活性化と災害復旧の円滑化、地域のまちづくりの手法の1つとして、取り組む考えはあるか伺います。

答 都市建設部長 災害が発生した場合の復旧を円滑に進めるため、地籍調査の重要性を認識しています。状況を見極め、海岸地域を地籍調査事業の対象区域として、まずは検証していきたいと考えています。

問 海岸地区を調査対象とした場合に必要となる人員と経費について伺います。

答 都市建設部長 現在、地籍調査係は3人で、事業費は約4000万円です。海岸地区を対象とした場合、人員は5、6人、事業費は約8000万円必要と考えています。

緑海橋について

問 平成30年9月の定例会で、緑海橋の歩道整備について質問した際、今年度から工事に着手するとのことでしたが、進捗状況を伺います。

答 都市建設部長 3カ年事業で計画工事発注の予定でしたが、平成31年度の1年間で歩道工事が完成する計画に変更したと聞いています。

問 緑海橋から九十九里方面へ向

かい、松ヶ谷口地先付近に拡幅事業途中の区間があり、用地交渉を引き続き行っているとの報告がありました。その後の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 県山武土木事務所に確認したところ、平成30年度は境界確定作業を実施し、31年度は用地買収を予定しているそうです。工事着手は用地買収後となるため未定とのことです。



歩道整備が待たれる緑海橋

避難道路について

問 津波避難道路の進捗状況について伺います。

答 都市建設部長 避難道路整備事業は、緑海小学校校門付近約230mの改良工事と合わせ、用地買収について引き続き交渉中です。上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は、成東総合運動公園北側交差点付近、約110mの改良工事と、工事箇所東側へ約200m進んだ辺りの約180mの改良工事を行っています。蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は、県道飯岡一宮線と交

差点部分から北側に約280mの改良工事と、中間部分から海側へ約100mの改良工事を進めています。

問 本年度の見込みで、工事整備済み区間と用地買収の状況を伺います。

答 都市建設部長 緑海地区の避難道路整備事業は、買収見込み面積が約85%、工事進捗率は73%です。上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は、買収見込み面積が約58%、工事進捗率は約25%です。蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は、買収見込み面積が約65%、工事進捗率は約30%です。

問 今後の予定について伺います。

答 都市建設部長 緑海地区の避難道路整備事業は緑海小学校から勝覚寺付近を、上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業は本年度工事の続きの箇所を、蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業は水路部分を予定しています。

問 平成30年9月の定例会で、工事や交通規制の情報をホームページに掲載するとの回答がありました。その後の状況について伺います。

答 都市建設部長 ホームページで、交通状況に大きな影響がある工事を対象にして、道路工事に伴う交通規制を掲載し、周知を図っています。

行政視察レポート



総務常任委員会

- ❖ 静岡県島田市 (H30.10.15)
公共施設マネジメントの取り組みについて
- ❖ 神奈川県海老名市 (H30.10.16)
総合窓口および民間委託の導入について

島田市では、市民アンケートの意見をもとに、公共施設の効率的な活用を行うため、平成26年に焼津市・藤枝市と共に任意の協議会を設立し、公共施設白書を作成しました。

本市でも公共施設管理の見直しの計画に参考となる内容でした。



島田市役所にて

文教厚生常任委員会

- ❖ 栃木県小山市「地方独立行政法人新小山市民病院」(H30.10.22)
地方独立行政法人の病院設置とその経営について
- ❖ 栃木県鹿沼市「栗野小学校」(H30.10.23)
地域材を利用した校舎について

鹿沼市では、公共施設の木造・木質化を積極的に進めています。栗野小学校では地材地建を建設の基本コンセプトとして建設されました。

地域の活性化を目指しながら進めた事業であり、活発な質疑がなされました。



栗野小学校での研修の様子

経済建設常任委員会

- ❖ 埼玉県比企郡小川町「霜里農場」(H30.10.9)
循環型有機農業について
- ❖ 静岡県焼津市 (H30.10.10)
ラウンドアバウトについて

霜里農場では、有機農業の第一人者である金子美登議員から、農場を見せていただきながら説明を受けました。自然を活かし、地域の農家、地元企業との連携、消費者との信頼を広げ、発展を遂げていることに非常に感銘を受けました。



霜里農場にて

防災・復興対策特別委員会

- ❖ 栃木県日光市 (H30.11.14)
防災士の養成および地域との連携について
防災行政情報システムについて
- ❖ 埼玉県飯能市 (H30.11.15)
飯能市議会災害対策本部支援について
タブレット端末を使用した災害対応について

日光市では、防災行政情報システムを視察しました。

音声が鮮明であり、市で今後導入する際に参考となるため、執行部とも情報共有をしました。



日光市役所での研修の様子

地域医療・高齢者対策に関する特別委員会

- ❖ 長野県松本市「相澤病院」(H30.10.30)
救急医療の取り組みについて
- ❖ 山梨県北杜市 (H30.10.31)
介護予防・日常生活支援総合事業について
公共交通と高齢者運転免許自主返納事業について

民間病院である相澤病院での、医師およびスタッフの意識改革の実践と、24時間体制の救急医療による病院経営の立て直しについての取り組みは、本市の地域医療の参考となる内容でした。



相澤病院にて

議会改革特別委員会

- ❖ 栃木県栃木市 (H30.11.7)
議会基本条例および政治倫理条例について
- ❖ 茨城県東茨城郡大洗町 (H30.11.8)
議会改革の取り組みについて

大洗町役場では、傍聴者を増やす取り組みとして、議会開催ポスターの掲示等を行っていました。また、開かれた議会を目指し、議会報告会、日曜議会を開催しており、大変参考となる内容でした。



大洗町での研修の様子

地域振興策等の早期実現を 国・県・成田国際空港(株)へ要望

TOPICS

成田国際空港は、空港需要の増加やアジア地域における空港間競争の激化などを背景に、第3滑走路の整備、B滑走路の延伸、夜間飛行制限の緩和を柱とした更なる機能強化が議論され平成30年3月13日に「成田空港に関する四者協議会」においてその具体的な方策が合意されました。

山武市・山武市議会として、航空機騒音下住民の不安解消を前提に、成田国際空港の成長が地域住民の生活環境向上となるよう、次の項目について、国、県、成田国際空港(株)へ要望しました。

1. 防音対策について

- ・内窓設置事業の事業範囲の拡大
- ・市が実施する航空機騒音防止対策事業への支援

2. 空港周辺対策交付金について

- ・県に成田国際空港(株)から交付される空港周辺対策交付金の空港南側地域への積極的な活用

3. 規制緩和について

- ・企業誘致等のため、農業振興地域農用地の除外手続きや農地転用許可などの規制緩和

4. 空港内従業員の雇用について

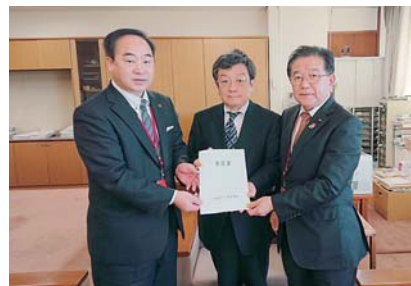
- ・空港周辺地域からの雇用の働きかけ

5. 観光地の整備及び推進について

- ・市内観光地の整備、市が実施する観光事業への支援
- ・空港周辺地域における観光地の普及啓発の推進

6. 空港に向かう道路等の整備について

- ・県が所管する主要地方道松尾・蓮沼線及び主要地方道成田・松尾線の4車線化のほか、成東地域及び山武地域から成田国際空港へ向かう道路の整備
- ・市が実施する道路整備事業への支援
- ・空港内駐車場等における車両混雑の解消



国土交通省(平成31年2月4日)



千葉県(平成31年2月12日)



成田国際空港(株)(平成31年2月15日)

千葉県南市議会議長会議員研修会 ～議会改革について～



講演する江藤俊昭氏

平成31年1月18日、茂原市民会館で千葉県南市議会議長会議員研修会が開催されました。

山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏を講師に迎え、「議会改革について～住民自治の根幹として議会を作動させる～」と題して、講演をいただきました。

議会をとりまく状況の分析から、市議会としてどのように対応していくべきかなど、大変有意義な研修となりました。

今月の表紙

今月の表紙は、統合校として4月に開校した、松尾小学校の新校旗の授与、山武中学校の生徒代表挨拶の様子です。新校はこれから、伝統を受け継ぎ、新たな歴史を刻みます。

令和元年 第2回定例会

(予定)

6/4(火)開会

6/12(水)一般質問

6/13(木)一般質問

6/14(金)一般質問、議案質疑、委員会付託等

6/17(月)総務常任委員会

6/18(火)文教厚生常任委員会

6/19(水)経済建設常任委員会

6/25(火)閉会

※日程は変更になることがあります。

編集後記

今回は、平成31年3月に行われた第1回定例会について編集しました。

議会だより編集委員会では、より読みやすい議会だよりづくりに取り組んでいます。皆さんのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

次回は8月1日(木)発行予定です。